

ノシメマダラメイガ

分類 鱗翅目メイガ科

学名 *Plodia interpunctella*

英名 Indian meal moth



■解説²⁾

本種の幼虫は食性が広く、穀粉、豆類（大豆）、ナッツ類などの原料から、動物質を含めたほとんどの加工食品を加害する問題種であり、異物混入のトラブルも多い。孵化後の幼虫は、餌の探索を活発に行い、包装材料のピンホールや隙間から製品中へ侵入することがある。また、穿孔能力が優れており、包装資材に穴を開けて製品内へ侵入することもある。

本種が発生している箇所には、幼虫による吐糸が見られる。吐糸で綴られた食品残渣が見られる場合には、本種あるいはその他のメイガ類が生息している可能性が高い。

■体長

卵 : $0.49 \pm 0.02 \times 0.29 \pm 0.01 \text{mm}^1$
 幼虫 : 8~10mm 内外²⁾
 蛹 : 7mm 内外²⁾
 成虫 : 体長 10mm 内外 開張 18mm 内外²⁾

■産卵数³⁾

産卵数/生涯 : 6.6 卵 (15℃)
 96.1 卵 (25℃)
 87.3 卵 (30℃)

■ライフサイクル

卵 : 4.0 日 (30℃)³⁾
 幼虫 : 20.9 日 (30℃)³⁾
 蛹 : ♀ 7.1 ± 0.39 日 ♂ 7.2 ± 0.43 日 (30℃)³⁾
 成虫 : 11.7 日 (25℃ 70% R.H.)⁴⁾

■発育零点 (発育停止温度)³⁾

10.8℃

【参考文献】

- 1) G. L. Lecato et al. : J. Kansas. Entomol. Soc., 47(3), 308 (1974)
- 2) 原田豊秋 : 食糧害虫の生態と防除, p. 526, 光琳 (1984)
- 3) 田村正人 : ノシメマダラメイガ *Plodia interpunctella* HUBNER の生態に関する実験的研究, p. 122, 東京農業大学 (1978)
- 4) 井村 治 : 食糧, 25, 47 (1985)